

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（あいづ） 会津森林計画区 （福島県）	事業実施主体	関東森林管理局 会津森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業地域の国有林約205千haは、福島県会津地方の2大河川である阿賀川（大川）及び只見川とその各支流の源流部に位置し、当計画区の森林面積の46%を占める。</p> <p>国有林の林況は、16%が人工林、うち51%が間伐適齢期（5～9 齢級）を迎えている。また、天然林は、里山地域ではコナラを主体とした二次林、山地帯ではブナ、ミズナラを主体とした原生的な森林、高標高地ではアオモリトドマツ等を主体とした亜高山性針葉樹などが生育している。</p> <p>当計画区の森林は、原生的な森林が多く分布していることから、国有林野面積の46%を保護林として設定している。また、保護林同士を連結して生物多様性の維持向上を図ることを目的とした緑の回廊が52%となっている。</p> <p>当事業地域の森林は、会津盆地に広がる広大な水田地帯の用水さらに下流域の水源地として重要な役割をはたしており、気象、土壌等の自然条件が厳しいため一部人工林に生育不良な林分も見られるが、このような林分についても水源かん養機能の維持、向上等のため健全な森林状態に誘導することが求められている。</p> <p>当計画区の森林については、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等への寄与、保健・文化・教育的な利用の場の提供、良好な生活環境の保全等の機能の発揮に加えて、水源のかん養、山地災害の防止、間伐材等の林産物を持続的、安定的供給の機能の発揮等、森林の持つ多面的機能への国民の期待が高まっており、かつ高度化・多様化してきている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>129</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>4,628</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>30.8</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.5</td> <td>km</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p>2,622,100千円</p>			森林整備	更新面積	129	ha		保育面積	4,628	ha	路網整備	開設延長	30.8	km		改良延長	2.5	km
森林整備	更新面積	129	ha																
	保育面積	4,628	ha																
路網整備	開設延長	30.8	km																
	改良延長	2.5	km																
費用対効果分析	総 便 益（B）	11,488,240千円																	
	総 費 用（C）	2,783,768千円																	
	分析結果（B / C）	4.13																	
評価結果	<p>・必要性： 水源のかん養や国土保全、地球温暖化防止対策及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 費用対効果分析の結果から事業の効率性が認められる。</p> <p>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備及び路網整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

別紙様式 7

整理番号 10

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業
 事業実施地区名：会津森林計画区
 （都道府県名：福島県）

事業実施主体： 関東森林管理局
 会津森林管理署

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,268,125	
	流域貯水便益	582,441	
	水質浄化便益	991,783	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,274,748	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	1,092,773	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	142,578	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	912,164	
	木材利用増進便益	18,652	
	木材生産・確保増進便益	3,646,281	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	479,001	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	3,167,280	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	188,169	
	森林管理等経費縮減便益	8,032	
	森林整備促進便益	362,222	
維持管理費縮減便益		272	
総便益(B)		11,488,240	
総費用(C)		2,783,768	
費用便益比(B/C)		4.13	

森林環境保全整備事業 会津森林計画区(福島県) 事業概要図

